

解 答

- 一 問一 矢吉の申し出は、本当はトメを送ることを口実にして、砥石山から逃げだすことが目的なのだと見抜いているから。
- 問二 家族のためにお金をかせぐはずが、たった十日でケガをしてもどってきたこと。
- 問三 周囲の人の期待を裏切って、左官屋で修行していないことに引け目を感じているから。
- 問四 （１） トメに対して逃げられないと言ったこの言葉は、自分にもあてはまるということ。
（２） これまでは自分などが一人前になるのは難しいと感じていたが、今後はつらい現実から逃げずに砥石山へもどって一人前になるためにがんばろうと決意した。
- 問五 厳しくて銭勘定にうるさく冷たい人間という印象だが、トメに対しては十二歳で体も小さいのに運び人にやってくれ、矢吉に対しては厳しい言葉で一人前の男にしてやろうというやさしさとあたたかさを持った人。
- 二 問一 ウ
- 問二 野鳥の鳴く安定した音の風景から、カラスの大群の飛来によって、野鳥が鳴かなくなり、緊張した沈黙の支配する風景へと変わる。
- 問三 （１） 店からフルボリュームで流されている B G M もサービスされていると受け入れているから。
（２）〈賛成〉 私は筆者の考えに賛成です。私は商店街の売り出しの声もうるさいとは思いません。それはせみの声を楽しむ日本人独特の感じ方なのだと説明されると、とても納得しました。外国人は虫の声もうるさく感じるそうです。音に対する感じ方が違うのだと思います。
〈反対〉 私は筆者の考えに反対です。私はせみの声は夏らしくて好きですが、商店街の売り出しの声はうるさいと感じるからです。自然の音を楽しむことと、商店街の音に寛容であることを結びつける筆者の考え方はおかしいと思います。

三 1 晴耕 2 一笑 3 息災 4 制 5 標準